

つるおか会

会報 第24号

発行 首都圏鶴岡会



ユネスコ
食文化創造都市

鶴岡

UNESCO Creative City
of Gastronomy



令和3年5月31日、江戸川区と鶴岡市の友好都市盟約40周年を記念し、オンラインによる記念式典が実施されました。

これまでの友好の絆を確かめるとともに、今後より一層交流を深めていくことを確認しました。

(写真左より) 江戸川区議会 堀江創一副議長、福本光浩議長、江戸川区 齊藤猛区長、山本敏彦副区長

中央のモニターには、鶴岡市 皆川治市長、山口朗副市長、佐藤博幸副議長、鶴岡江戸川交流合唱団 五十嵐廣明副会長)

五月三十一日に、江戸川区と鶴岡市友好都市盟約四〇周年記念式典が行われました。コロナの影響がなかったら皆さんにも参加してほしい行事でした。式典の様子はJCOM「えどがわ区民ニュース」で「未来へつなぐ友好の絆」江戸川区・鶴岡市友好都市盟約四十周年」が放送され、皆さんの江戸川・鶴岡への思いが感じられる素晴らしい番組でした。

四月二十一日、役員会がタワーホール船堀で久々に顔を合わせて、三密を避けマスク着用、換気に配慮し、一年以上の時間を経て開催されました。互いに顔を合わせてのリモートとは違い懐かしくもあり、生の意見交換ができ話も進みました。同じ空気を共有すると議論にも違いが出るようです。

今はコロナワクチンについて、「接種券届いた？予約取れた？一回目の接種終わって？」があいさつ代わりの日常になっていきます。六月二十日現在、高齢者のワクチン接種が進み、六十四歳以下の若い人たちへの接種も始まりつつあるようです。九月末までに全世代完了予定の区があり、他の市区町村でも今後増えてくるのではないかと期待しています。

今年の総会は二年ぶりにタワーホール船堀で皆さんと顔を合わせ開催されます。オンラインで鶴岡と東京を結び、鶴岡の最新情報など意見交換のプランを進めています。



会長 坂田 敬一

会長挨拶



鶴岡市・江戸川区



友好都市盟約40周年

鶴岡市と江戸川区は、昭和56年5月に友好都市盟約を締結し、今年40周年を迎えました。これまでの両都市の歩みを紹介します。

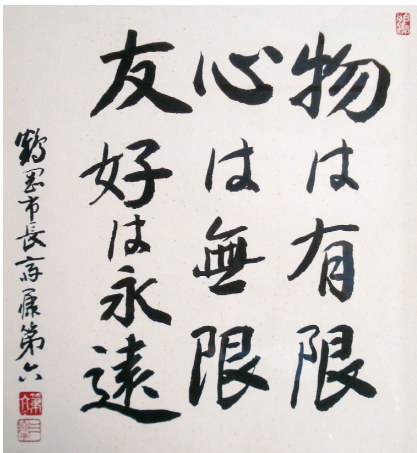
盟約締結まで

鶴岡市と江戸川区の友好は、第二次世界大戦時の学童疎開がきっかけです。

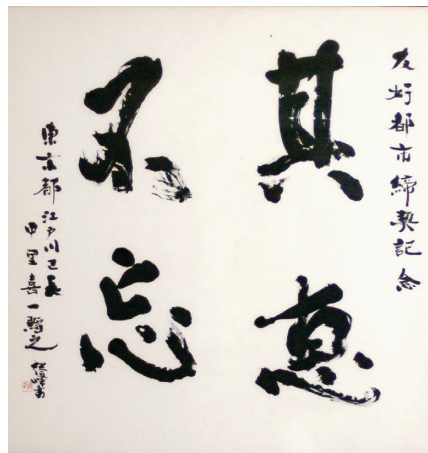
昭和十九年、戦火にさらされた東京では、学童の集団疎開が始まり、江戸川区から四千三百名以上の学童が鶴岡市の各地（市街、湯田川温泉、湯野浜温泉、あつみ温泉、善宝寺、大山）に滞在しました。

終戦とともに東京に戻った学童でしたが、やがて成人するうちに鶴岡の土地と人々を懐かしく思い出すようになり、新潟地震（昭和三十九年）の際の救援や内川への鯉や金魚の放流など、様々な交流が続いてきました。

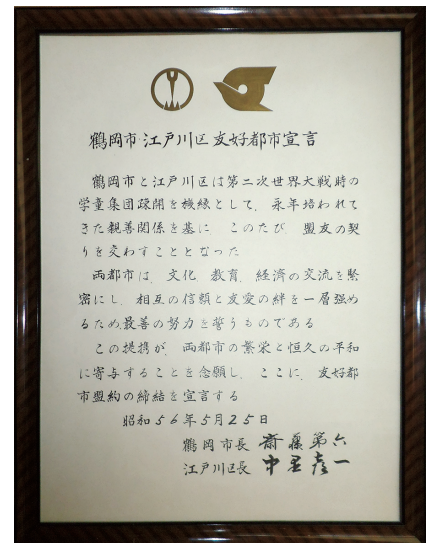
さらに市民全体に友情の輪を広げ、平和の尊さを語り継ぐと、昭和五十六年五月二十五日に友好都市の盟約が結ばれ、今日まで様々な交流を通じ友好の絆を深めています。



元鶴岡市長 齋藤第六 書



元江戸川区長 中里喜一 書



友好都市宣言

荘内銀行
東京支店 (中央区日本橋室町)

地元企業エル・サングループ お気軽にお問い合わせください!
葬祭会館 **アク・サン**
ご葬儀 事前相談 承っております。
アク・サン 鶴岡・本町・大山・余目・あつみ
HP:<http://www.aqsun.jp> TEL.0120-91-5002

総合保険事務所 **オフィス勝どき**
代表 大泉 正 (日本FP協会会員、相続診断士)
取扱保険会社 メットライフ生命・東京海上日動
〒104-0054 東京都中央区勝どき6-3-1-3422
TEL 03-6794-1208 FAX 03-6734-0498
フリーフォン 0800-080-1208
Eメール oizumi.masashi@mt-kachidoki.jp

【電気とエアコン、困ったときお電話下さい。】
株式会社 **ホコマ電機**
取締役会長 本間 俊三
〒252-0302 相模原市南区上鶴間1-12-1
TEL: 042-746-1616

鶴岡市友好都市 江戸川区のコミュニティ施設
ご宴会・レストラン **グリーンパレス**
〒132-0031 東京都江戸川区松島1-38-1
TEL 03-3651-2228
<http://www.greenpalace-matsuya.com>

第二のふるさとを大切にしています。 **江戸川大山会**
会長 長岡 利夫

交流のあゆみ



H4.7 西葛西駅前で行われた
東京事務所設立2周年「鶴岡と観光の物産展」



H9.2 「寒だらまつり」
当時は東京事務所前で開催されていました。



H13.10 友好都市盟約20周年の年の
「えどがわ区民まつり」(篠崎公園)



H23.11 友好都市盟約30周年記念訪問
「金魚の放流」(鶴岡公園近くの新百間堀)



H25.6 第7葛西小の児童による田植え
平成5年から区内小学校で「庄内米づくり事業」が行われています。



R1.5 学童疎開75周年記念事業
「歓迎交流会」(東京第一ホテル鶴岡)

<p>庄内の歴史、文化、民俗資料展示</p> <p>チドウ 公益財団法人 致道博物館</p> <p>鶴岡市家中新町10-18 電話 0235-22-1199</p>	<p>電子版 好評受付中!!</p> <p>シングルプラン (電子版のみ) 2,200円/月(税込)</p> <p>お問い合わせ tel.0235-22-1480 http://www.shonai-nippo.co.jp/</p>	<p>学生を伸ばす、地域の未来を創る、世界に挑む大学づくり</p> <p>東北公益文科大学 Tohoku University of Community Service and Science</p> <p>経営コース 政策コース 地域福祉コース 国際教養コース 観光・まちづくりコース メディア情報コース</p>
<p>出羽庄内地域文化情報誌</p> <p>Cradle</p> <p>庄内の 変わらぬ魅力をお届けします</p> <p>通話料無料 TEL : 0800-800-0806</p>	<p>富士酒造株式会社</p> <p>〒997-1124 山形県鶴岡市大山三丁目32番48号</p> <p>TEL 受付時間 月~金 9:00~17:00 FAX 受付時間 24時間 0235-33-3200 0235-33-0477</p> <p>http://www.e-sakenom.com</p>	<p>お酒は20才になってから</p> <p>銘酒</p> <p>加藤嘉八郎酒造株式会社 〒997-1124 鶴岡市次山 3-1-38 TEL 0235-33-2008</p>

第25回 首都圏鶴岡会総会のお知らせ

日時：令和3年9月26日(日) 13時30分～
場所：タワーホール船堀（都営新宿線船堀駅すぐ）

このたびの総会については、コロナ禍の中で、どうすれば開催できるか、理事会でも慎重に検討してまいりました。その結果、感染防止対策を徹底することに加え、従来の対面だけでなくオンラインによる講演、そして懇親会を行わないなどの対策を行い、総会を開催することといたしました。ぜひ多くの皆様から、またこれまで参加されたことのない方からのご出席もお待ちしております。



加藤孝幸
総会実行委員長

一昨年、令和元年の第二十三回首都圏鶴岡会総会では岡部実行委員長の下で副実行委員長を拝命し、副委員長の役割と問われれば、「翌年の総会の実行委員長をやること」とだけ受け止めていました。鶴岡会は今から十年以上前に鶴翔同窓会の同期生が鶴岡市東京事務所の所長をしていた時に鶴岡会の存在を知っただけで、菅前会長に誘われるまでは仕事の忙しさで全く関わっていませんでした。

江戸川区内の東京事務所近くに住んで居るという便利さだけで役員に推され先輩の交代で副会長になったばかりで何も分からなく不安でした。昨年はコロナ禍で総会が中止になってしまいました。今年も現状を生かしながら必要なことを精選して皆様のためになる運営をするこ

「ピンチはチャンス」と言いますが、今こそ形式に執らわれず本来の目的を果たす取り組みを行っていきたいと思います。私たちは人生経験から順風の時より困難があった時の方が発展することを知っています。コロナ禍の現状の中で首都圏鶴岡会総会のあり方とは何かを、会長を中心にスタッフのみなんで更に智恵を出して準備を進めています。総会の内容は現時点では必要最小限にする必要があります。コロナウイルス感染対策の影響で変更も可能な方法を考えています。

Zoom などのアプリを使ってリモート会議ができる会場で、会場に参加できない方々にもオンラインで視聴が可能な形としております。

懇親会はできませんので、その分お土産をみなさんに喜んでいただけるものを用意したいと考えております。鶴岡会の会員には懐かしい物ばかりを、なるべく会費の負担を抑えつつ、地元のためになる工夫をしております。是非ご期待いただき、共々に活発に発展させましょう！

手造りの味 本長
つけもの処
〒997-1124 山形県鶴岡市大山1-7-7
フリーダイヤル0120-330-878
FAX 0235-33-0878
http://www.k-honcho.co.jp
鶴岡駅前:本長商店 TEL0235(22)0616

庄内の地魚・旬の食材たっぷりの蒲鉾
滝川かまぼこ店
鶴岡
街電泉・滝川
〒997-0034 鶴岡市本町1丁目8-27
TEL 0235-22-0281

JA 鶴岡
ご注文は
☎ 0235-29-9850
ただばら 検索

山形県立鶴岡南高等学校
東京鶴翔同窓会
事務局 〒116-0011 東京都荒川区西尾久5-7-25
TEL・FAX 03-3893-9876 (岡部方)
同窓会HPはこちら

山形県立鶴岡北高等学校
如松同窓会東京支部
笑顔で会える日を楽しみに
事務局 〒135-0021 東京都江東区白河4-9-25-412
TEL/FAX 03-6240-3795

鶴岡地区
物産協同組合
鶴岡市山王町3-14
TEL:0235-64-8701 FAX:0235-64-8702
E-mail:bussankimiai@angel.ocn.ne.jp

山形県立鶴岡中央高等学校
黎明同窓会関東支部
事務局 〒165-0025 東京都中野区沼袋1-41-2
TEL・FAX 03-3389-1894

山形県立鶴岡工業高等学校
城畔同窓会関東総支部
事務局 〒351-0011 埼玉県朝霞市本町1-15-4
TEL・FAX 048-462-3655

クラゲ展示種類数
世界一
鶴岡市立加茂水族館 TEL0235-33-3036

これまでの総会を振り返って

設立総会(第一回)

開催：平成九年九月二十八日
場所：グリーンパレス



中里区長(左)、水口会長、富塚市長(右)

首都圏鶴岡会は、約二年間の準備を経て、首都圏に在住する鶴岡出身者及び鶴岡に好意を寄せてくださる方を会員として、平成九年に設立されました。第一回となる設立総会では、初代会長に水口としきさん(如松同窓会)が選出されました。当日は、富塚陽一鶴岡市長、中里喜一江戸川区長をはじめ多くの方にご出席いただき、大盛況となりました。

総会(第三回)

開催：平成十一年九月二十六日
場所：総合区民ホール



交流パーティ

第三回の総会は、天神祭の化け物によるお酒のふるまいや、「雪の降るまちを」の合唱など鶴岡らしき満載の会となりました。当日は、致道博物館館長である酒井忠久氏(酒井家十八代当主)より「藩校と徂徠学」と題して、藩校致道館の教育方針や、現在の鶴岡にもその方針が引き継がれていることなどを講演いただきました。

総会(第八回)

開催：平成十六年九月二十六日
場所：タワーホール船堀



山田洋次監督

第八回の総会は、映画監督の山田洋次氏から「私と藤沢周平」と題して講演いただきました。藤沢周平原作の「たそがれ清兵衛」や「隠し剣鬼の爪」、「武士の一分」で監督・脚本を務められた山田監督ですが、藤沢氏本人と会ったのは一度だけ、それも全く別の物語へのアドバイスを受けるためだったそうです。その時の佇まいや話し方から、藤沢作品から感じる庄内のイメージと藤沢氏がぴったりと重なった、と感動されたエピソードなどをお話いただきました。

総会(第十九回)

開催：平成二十七年九月二十七日
場所：タワーホール船堀



太下氏(前列中央)を囲んで

ユネスコ食文化創造都市に認定された翌年に開催された第十九回総会。三菱UFJリサーチ&コンサルティング芸術・文化政策センター長(当時)の太下義之氏から「ユネスコ食文化創造都市鶴岡の魅力」として、講演いただきました。創造都市の認定はゴールではなくスタート、鶴岡の魅力を日本国内そして世界に広めていきたいと話されました。

総会(第二十一回)

開催：平成二十九年九月二十四日
場所：タワーホール船堀

第二十一回の総会は、山形大学農学部江頭宏昌教授より、「在来作物と鶴岡の魅力」として、講演いただきました。鶴岡に今なお数多く残る在来作物のおいしさと豊かさに魅了されたことが、研究を始めたきっかけと話されました。

懇親会では、山伏による会場のお清めに始まり、民謡やミニ天神まつり、抽選会などの催しが行われました。



浅草の民謡歌手によるアトラクション

総会(第二十二回)

開催：平成三十年九月二十四日
場所：タワーホール船堀

第二十二回の総会は、皆川治鶴岡市長による講演が行われました。

「故郷・鶴岡の現状と課題」と題して、観光や産業、高速交通網など様々な市の取り組みについて、パワーポイントを使いながら分かりやすく説明いただきました。

総会終了後には、二次会、三次会にも出席いただき、会員との懇親を大いに深められました。



抽選会に、皆川市長もご登壇

今後も、郷里に思いを寄せ、皆様に楽しんでいただける総会を目指してまいります！

会員のひろば



石川 剛さん

私は生まれは東京ですが両親が鶴岡の出身で、子供の頃は毎年帰省していました。今も金峯山の姿を見ると、故郷に帰って来た気持ちになります。

昨年三月から仕事でミャンマー・ヤンゴン市に在住しています。来てすぐに当地でもコロナ禍が始まり、ようやく収束の兆しが見え始めた今年二月、今度は国軍によるクーデターが発生。なかなか波乱万丈な海外生活となっています。でも現時点(二〇二一年五月)では、私が住む周辺では身の危険を感じる事はあまり無く、気を付けながら無事に生活しています。

ミャンマーで暮らして感じるのは、自分が子供だった頃(昭和四十年代)の日本と似ているなあ、ということ。例えば、野良犬がいる、時々停電する、道路がデコボコ、若い人が多い、等々。平均所得もまだまだ低いのですが、素朴で明るく、真面目な仕事振りの人が多いという印象です。今は社会経済が大変な状況でこの先どうなるのか予断を許しませんが、長期的には大きな成長の可能性を有していることは間違いないと思います。

私は当地では自動車の販売やレンタカー業に従事しているのですが、社会の変化のスピードが速いので、日本ではなかなか経験できないような新しいビジネスチャンスに触れる機会が多く、ワクワクしながら仕事をしています(一方で、今回のような混乱に伴うリスクも大きい訳ですが…)。

余暇の楽しみは、今はゴルフぐらいしか無いのですが、かつての宗主国イギリスの影響が良いコースがいくつもあり、毎週のようにラウンドしています(コロナの前は夜のカラオケ・バーも盛況だったようですが、今は全て閉店で一度も行けていません)。

まだまだ山あり谷ありのミャンマー生活が続くようですが、これから何が起こるのか楽しみにしながら頑張っていきたいです。

と考えています。コロナとクーデターが収まったら、皆様も是非一度、遊びに来てください。



尾中 文子さん

今、世界中

で新型コロナウイルスが猛威を振るっています。私たちが営んできた生活が一変し、会話にも

気を付け、外出もままならない状況です。人との繋がりはもちろんのこと鶴岡に帰省することさえできません。この巣ごもり生活が、私にとって「故里」がどんなに大切なものだったかを改めて感じさせてくれる日々でした。

私は旧姓真田といいます。松物町で生まれ七人兄弟姉妹の二番目です。朝暘第一小学校―鶴岡第三中学校―鶴岡北高校と過ごした十八年間は住まいの裏の南岳寺の大火や新潟地震の怖い思いも経験しましたが、子供の頃は野外で暗くなるまで遊び回り、中学時代はバドミントンの部活に熱中し、高校時代は仲間と夢中で語り合い、のほほんと過ごしてきました。

上京して半世紀以上になりますが「故里」のことは忘れたことはありません。春は水田の水色、夏は青々とした田んぼの緑色、秋は黄金色、冬は雪国の白と灰色の素晴らしい景色が目につかび「郷愁の念」に駆られます。

振り返れば十二年前、同窓会のお手伝いをして五年目だった頃、当時の東京事務所所長の岩城公志さんに「一緒にいがねが」と懐かしい庄内訛りで誘われ、初めて「首都圏鶴岡会」

に参加したとき皆さんの強い郷土愛に共感し、ひとりでも多くの会員に賛同してもらうため如松同窓会東京支部の会場で鶴岡事務所の担当の方にPRのお願いをしたり、結成六十周年記念号で紹介したことを記憶しています。

私は「寒鰯まつり」「鶴岡市政報告会」「大江戸勸進祈願祭」「屋形船を楽しむ会」「ふるさと訪問ツアー」「納涼だだちゃ豆会」や「首都圏鶴岡会」「庄内イイナ会」「庄内うたう会」等、お誘い頂いた会はなんでも参加することになっています。嬉しいことに「よく来たの!」「なづがしごど!」といつでも家族や幼馴染のように入ってもらえます。同級生はもちろんのこと同じ町や隣町の大先輩や後輩の方々に会いした時は昔に戻ったようです。

もちろんイベントや講演会も素晴らしいですが、初めて出会った方でも「同郷」というだけで安心して語り合えること、人と人との和を広げられるのも大きな魅力です。

この出会いが「ふれあい酒田会」「山形県人東京連合会」「花回廊よーざんろーどをつくる会」「東京南陽会」「興譲館同窓会」といった庄内はじめ最上・村山・置賜地域の県内の多くの方々はまだ繋がり、今では私の人生になくはならない大切な心の支えとなっています。



渡邊 みゑさん

私のこころ

旅。鶴岡市新
形生れ、線路
を越えた六軒
しかない通称、
松ノ木橋の団
子屋の未娘。
田圃に囲まれ

た家から鳥海山、月山、金峯山、高館山と四方を見渡せるのんびりした環境で育ちました。今は住宅地になって新形は新形町、離れていた我家は日和田町となり全く様変わりしました。花見、天神祭り、サーカス、花火大会などと一緒に、一時間もかかる一中への通学路の辛い思い出が浮かびます。出来たばかりの国道七号線が近道でしたが一人で歩く一本道、当時は遮るものがなく夏の日差しや冬の季節は大変でした。

鶴岡を離れて味のある方言も岐阜生れの夫とは笑いの種、遠い故郷でした。高校同窓会から始まって鶴岡会に入会し故郷の歴史、文化を知る機会を得、改めて見直しました。小学校の遠足で行った羽黒山、湯殿山、清川八郎や加藤清正の遺跡見学はお弁当やおしゃべりのただ楽しいものでした。幕末庄内藩の出来事も松ヶ岡開墾がなされたことと軽い話。佐藤賢一氏著の「遺訓」などを読むとわくわくし、鶴岡が大山形県の県庁所在地になっていたら新幹線も高速道路もとづくに通っていたらどうかと妄想が膨らみます。当時、もう少し地元を歴史を教えて頂けていたらと残念に思います。

鶴岡会では講演や出席者からの初耳な事や楽しい事を聞き、冬は寒鰯汁、夏はだだちゃ豆とお酒の楽しみ満載。お酒の弱い夫と友人を誘って一卓を囲み楽しいひと時を過ごしています。

今はコロナ禍で行事は難しい現状ですが、次回の企画を楽しみにしておりますし、早く安心して皆様とお会い出来るよう願っています。

首都圏鶴岡会 新規会員を募集しています！

「首都圏鶴岡会」では、一緒に活動していただける方を募集しています。

ご家族、ご友人、会社の同僚など、多くの方をお誘いください。若い方(自称でも構いません)、大歓迎！懇親会・様々なイベントを通じて、同郷の仲間や、鶴岡が大好きな方とのつながりを深めませんか？

ふるさと会、高校同窓会に加入しませんか？

首都圏鶴岡会の他にも、市町村合併前の旧町村単位で「ふるさと会」、さらには、各高校の「同窓会」もあり、それぞれ活動が行われております。

ぜひご入会いただき、懇親を深めるとともに、故郷・鶴岡を盛り上げましょう。

ご興味のある方や入会を希望される方は、鶴岡市東京事務所までお問い合わせください。

松ヶ岡開墾 150周年！

松ヶ岡開墾場は、戊辰戦争終結後、刀を鋤に持ち替えた旧庄内藩士たちによって開墾され、今年で150年を迎えます。開墾士により形成された集落で、今もなお存在しているのは、全国でもここだけといわれています。

平成29年には日本遺産にも認定されています。ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか？

鶴岡市ふるさと納税公式SNSアカウントを開設しました！

鶴岡市では、ふるさと納税の取組推進のため、公式 Twitter、公式 note をスタートいたしました。返礼品に関する情報や、生産者、風土の魅力などを積極的に発信します。ぜひ多くの皆様の「フォロー」をお願いします！

[twitter]
鶴岡市_ふるさと納税



[note]
鶴岡市 ふるさと納税



会報編集委員

伊藤美津子 石川 康博 大泉 正
小林 武 櫻井 孝子 坂田 俊次
佐藤 隆也

鶴岡市東京事務所 公式facebook



旬の情報を発信しています。
ぜひご活用ください。

お問い合わせ

首都圏鶴岡会事務局

〒134-0088
東京都江戸川区西葛西7丁目28番7号
鶴岡市東京事務所内
TEL 03-5696-6821
FAX 03-5696-6822
E-Mail
tokyo@city.tsuruoka.yamagata.jp

鶴岡市東京事務所 職員紹介

今年度もよろしくお願いたします。お気軽にお越しください。



(所長) 伊藤 弘治



五十嵐 佳祐



安藤 勝教



目黒 清臣



北川 茂子